香港の繊維事情

戸川 順 治*

1. 香港経済の概況

「1997年に中国への復帰」が決定した香港は、かつて無い好況を呈しておりアジア NICS の中でも際立った経済成長を遂げている。

1986年の香港経済は、好調な輸出と個人消費の伸び、更には民間設備投資の回復に支えられ、11%の実質経済成長を達成した。

この景気好転を背景に香港産業界での労働力需要は旺盛であり、失業率は2.2%とほぼ完全雇用に近いレベルに達し、1987年に入り、更に1.8%と史上最低の水準に達している。

政府財政収支は、一般会計で HK ドル30億ドルの黒字を記録し、1987年度から法人税を18.5%から18.0%へ、所得税を17.0%から16.5%へそれぞれ引下げた。

1987年の香港経済については、9月21日、ジェイコブス財政長官が、経済成長率見通しを、当初政庁見通しの6.2%から一挙に12.0%へ上方修正する旨の発表をしたことからも見られる通り、一層の成長が見込まれている。

1985年9月のG-5プラザ合意以降続いているUSドル下落の中で、NICSの中でも台湾、韓国等が米国の圧力により、自国通貨を切上げているのに対し、HKドルはUSドルにリンクされているため、輸出価格競争面で相対的に有利となり、香港の輸出好調は本年も続いており、これが景気拡大の牽引車となり、設備投資や民間の消費支出増大を促進している。

好景気による歳入増により、財政収支はさらに好転しており、本年度は、HKドル40～50億ドルの黒字が予想され、1987年から0.5%下がり18.0%になった法人税が、1988年春には、更に1～2%幅で減税されとの観測も出ており、これが実現すれば、香港経済の新たな刺激材料となろう。しかしながら、この様な活況を呈している香港経済も、いくつかの

問題を抱えており、特に次の3点がクローズアップされている。

- 1) インフレ懸念
- 2) 労働力不足の深刻化
- 3) 世界的な貿易保護主義の台頭

これらの問題のなかでもとりわけ頭の痛いのが、労働力不足問題であり、産業界では中国への生産シフトや有力化投資に懸命の努力をしている。以下、主要項目ごとに述べる（表1）。

1.1 輸 出

1986年の香港地場輸出（自由港であり、世界の物流拠点の1つとなっている香港では、中継貿易も多く、これと区別するため「地物輸出」と称している、表2）は、前年比19%増と1985年の6%減に比し著しい回復を示した。輸出回復の要因として、

- (1) USドルにリンクして下落したHKドルの為替面の有利性
- (2) 欧州景気の回復
- (3) 香港品の品質向上に対する海外諸国の認識の高まり。

主な輸出品目としては、繊維（前年比23%増）、写真用機具（同比20%増）、電機用器具（同比12%増）等がある。

1986年の貿易収支はHKドル5.75億の黒字を示し、観光収入等貿易外収支を加えた経済収支は、HKドル121億、USドル17億の黒字となった。

1987年の地場輸出は、香港ドルの為替上の有利性もあり、繊維、通信機器類、幼児用玩具、スポーツ用具、旅行用具等を中心に好調に推移するものと思われる。

1.2 個人消費

輸出の好調、賃金の上昇（1986年実質賃金上昇率4%）を反映し、香港の個人消費は好調に推移して

*J. Togawa, 伊藤忠商事㈱

表 1 87年香港経済予測総括表

(1980 Constant Prices) (HK \$ 百万)	Real % Growth				% Contribution	
	1985(e) Official	1985(e) Official	1986(e) Official	1987(f)	1986(e)	1987(f)
民間消費	116,696	5.5	7.1	5.5	4.6	3.5
政府消費	12,561	1.9	5.0	6.0	0.3	0.4
国内総固定資本形成	45,807	— 2.4	6.7	9.3	1.7	2.3
移転費用	2,046	43.2	29.7	15.0	0.3	0.2
住宅建設	17,508	— 8.4	0.1	10.0	0.0	0.9
民 間	11,248	0.9	2.1	11.0	0.1	0.6
公 的	6,260	—21.4	— 3.6	8.0	— 0.1	0.2
再輸出開発業者手数料	11,095	1.8	11.6	11.0	0.7	0.7
プラント・機械	15,158	— 2.1	7.7	6.3	0.6	0.5
民 間	14,618	— 1.2	9.1	6.0	0.7	0.5
公 的	540	—22.2	—30.0	20.0	— 0.1	0.0
公債(国債)の増加	1,579					
全商品輸出	161,413	5.7	15.1	8.1	13.5	7.7
地場輸出	91,145	— 5.4	16.0	6.9	8.1	3.7
再 輸 出	70,268	24.7	13.9	9.8	5.4	4.0
全商品輸入	163,565	6.2	13.5	8.6	—12.2	— 4.7
サービス輸出	32,406	3.6	12.8	8.0	2.3	1.5
サービス輸入	25,697	8.6	10.7	7.0	— 1.6	— 1.0
国内総生産	181,200	0.6	11.0	12.0	11.0	12.0
全最終需要	370,462	3.5	11.0	7.3	22.3	15.3
全最終需要, 再輸出を除く	300,194	— 0.4	10.3	6.7	17.0	11.3
国内需要	176,643	1.6	6.9	6.3	6.6	6.1
民 間	157,282	2.9	7.5	6.3	6.5	5.4
公 的	19,361	— 7.7	1.2	6.9	0.1	0.7
貿易収支		3.7	0.6	— 0.6		
経常収支		2.0	1.7	1.7		
消費者物価指数		3.2	2.8	4.5		

Note: Revised forecast on March 20, 1978. (香港日本商工会議所)

いる (1986年実質個人消費 7% 増)。1987年の投資の拡大, 地場輸出の増大, 香港経済の好況等に支えられ, 個人所得は増加しており, 個人消費は依然堅調に推移している。

1.3 民間設備投資

1986年の民間設備投資は, 9.1% 増と1985年の1.2% 減から大幅な改善となった。その要因として, 地場輸出の増加と香港の中国復帰に関する中英合意による政治的安定見通し, 更には低金利等が挙げられる。

1987年度も好調な輸出産業への投資意欲は旺盛であり, 海外からの投資増加も見込まれるため, 少なくとも1986年並みの投資が期待される。

2. 香港繊維産業の現状

2.1 香港における繊維産業の位置 (表 2, 3)

香港は好調な輸出, 消費支出の増大, 低金利等により過去にかつて経験した事のない様な好況の中にあり, 経済成長率も1986年は11.0%を達成し, 更に1987年も12.0%の経済成長が見込まれる。

この飛躍的な高度経済成長を担っているのが香港繊維産業であり, 繊維産業は香港経済にとり, 極めて重要な役割を果たしている。

先ず雇用労働者の面では, 製造業への就業人口90万人の内, 繊維産業に約32万人が従事しており, 製造業就業人口の36%を占めている。

貿易面をみると, 繊維の地場輸出は, 1986年には

表2 香港輸出／輸入状況

(HK \$100万)

		1983		1984		1985		1986		1987(1～6)	
	アイテム	全 額	前年比%	金 額	前年比%	金 額	前年比%	金 額	前年比%	金 額	前年比%
輸出	全商品										
	地場輸出 (A)	104,405	126	137,936	132	129,882	94	153,983	119	85,792	131
	再輸出* (B)	56,294	127	83,504	148	105,270	126	122,546	116	80,127	151
	合 計 (C)	160,699	126	221,440	138	235,152	106	276,530	118	165,919	140
輸出	織 維										
	地場輸出 (D)	42,448	122	57,666	126	55,057	95	67,934	123	35,362	133
	再輸出* (E)	12,317	131	18,892	153	23,651	125	28,643	121	22,123	156
	小 計 (F)	54,765	124	76,558	140	78,708	103	96,577	123	57,485	141
	D/A%	40.7%		41.8%		42.4%		44.1%		41.2%	
	F/C%	34.1%		34.6%		33.5%		34.9%		34.6%	
輸出	衣 類										
	地場輸出 (G)	34,365	119	46,714	136	44,912	96	52,162	116	27,957	126
	再輸出* (H)	4,495	149	6,184	138	7,652	124	13,365	175	9,033	167
	小 計 (I)	38,860	122	52,898	136	52,564	99	65,527	125	36,990	134
	G/A%	32.9%		33.9%		34.6%		33.9%		32.6%	
	G/D%	81.0%		81.0%		81.6%		76.8%		79.1%	
	I/C %	24.2%		23.9%		22.4%		23.7%		22.3%	
	I/F %	71.0%		69.1%		66.8%		67.8%		64.3%	
輸入	全 商 品	175,442	123	223,370	127	231,420	104	275,955	119	172,153	140
	(内繊維)	32,491	132	44,311	136	46,732	105	62,286	133	39,416	143

*中継貿易

HKドル679億 (USドル87億) であり、1987年1～6月では、HKドル354億 (USドル45億) を達成しているが、これは香港地場輸出全体の各々44.1%及び41.2%となり香港第一の輸出産業の地位を占めている。

2.2 香港繊維産業の概要

1986年の香港繊維産業は、総じて好調に推移した。香港の繊維産業の中心は衣料品であり、その生産品のほとんどが輸出されている。

1986年の繊維輸出は、前述の通り HKドル679億 (USドル87億) 前年比123%であったが、内77%を占める衣料品輸出が HKドル522億 (USドル67億) 前年比116%と好調な伸びを示した。

好調な衣料品の輸出に支えられ1984年には前年比136%と急増した繊維輸出も1985年には、この反動もあり前年比95%と不振であったが、1986年には、下記の理由により再び前年比123%と大幅な伸びを示した。

(1) 米国の衣料品在庫調整が進み、香港からの買

付けが、前年比109%と増加した。

(2) EEC 諸国の市況回復に伴い、特に衣料品輸出が前年比134%と急増した。

(3) 繊維原料、織物、衣料品すべての商品分野において、中国との取引が一段と活発化した。

1987年の見通しであるが、前半 (1987年1～6月) は1986年同様好調であり、繊維輸出は、HKドル354億 (USドル45億)、前年同期比133% (香港総輸出の41.2%) を達成しているが、後半は、米国及び欧州主要国の景気の動向、新たな輸入制限に関する米国議会の動き、昨年来の商品市況の高値傾向、金利動向、労働力不足、賃金の高騰等々不透明部分も多く楽観は出来ない。

以下各商品分野ごとに述べる。

2.2.1 原料繊維 (表4)

1986年の香港での繊維原料の動きは、一部フィラメント糸を除き、総じて順調であった。生産設備面では、1985年末現在35万鍾であった綿紡績の稼働鍾数が、1986年9月末には、35.5万鍾と増加しており、

表3 香港総人口／就業人口資料(1985年末)

人口(千人)	(男) 2,825	(女) 2,642	(計) 5,467	
労働人口(千人)			2,540	
			人数(千人)	構成比(%)
就業人口	製造業		904.4	35.6
	金融・保険・不動産・他サービス業		593.9	23.3
	レストラン・ホテル・小売店・卸売店		582.3	22.9
	運輸通信業		207.7	8.2
	建設業		189.8	7.5
	その他		63.9	2.5
	合 計		2,542.0	100.0
主要製造業企業数／従業員数				
繊維工業			企業数	従業員数(人)
	綿紡		27	7,405
	綿織布		286	13,819
	晒・染・仕上		845	22,692
	メリヤス		1,886	48,388
	小 計		3,044	92,304
	衣料品・手袋		7,713	232,258
	その他		15,628	302,352
	合 計		26,385	626,914

1984年末現在の、45万鍾には及ばないが市況の回復を物語っている。

綿糸の在庫は、1985年末の4,415トンから1986年9月末には2,950トンに減少している。

輸入については、1986年に前年比大幅に増加したのは、綿花、綿糸等であり、特に綿花は、1986年1～11月で236,000トンとなっており、1985年の199,358トンを既に上廻っている。ポリエステルステープル/アクリルステープル/アクリル糸等の輸入も順調に推移した。なお合成繊維に就いては、香港が中国への流通ルートになっており、香港からの再輸出が今後共増加するであろう。

2.2.2 織物 (表5～9)

1986年の織物業界は、過去最高の1984年の記録を塗りかえた衣料品輸出、久々のプリントブーム、デニムの復活、中国向け縫製用原反取引の伸び等々の理由により、非常な活況を呈した、1980年代に入り下降の一途をたどっていた地場生産もかなり回復した。1985年来、18,716台であった稼動織機が、1986年9月には、21,419台と増加しており、1986年の活況がうかがわれる。

綿布の在庫は、1985年末の200,150 (千) m² から、1986年9月には、25,976 (千) m² と大幅に減少し、

綿/合繊混織物も、3,554 (千) m² から、3,228 (千) m² に減少した。

1986年輸出では、綿織物が前年比130%と増加しており、特に中国向けが195%と大幅に増加し永年トップの座を続けた米国向けを抜き第1位となった。又、綿/ポリエステル混織物は、前年比120%となり、中国向けが、157%と伸び英国向けに次いで第2位となっている。

一方、1986年の輸入では、綿織物が前年比137%と増加、特に中国からの輸入が、前年比145%となり73.2%という圧倒的なシェアを占めている。綿/ポリエステル混織物も前年比128%を記録、中国からの輸入が70.4%のシェアを占め、外貨獲得に力を注ぐ中国からの輸入が寡占体制を強める一方、円高に喘ぐ日本からの輸入が下降の一途をたどっている。

2.2.3 衣料品 (表10～12)

香港は、衣料品輸出における世界 No. 1 の地位を永年維持しているが、1986年の衣料品輸出は、HKドル522億 (USドル67億) 前年比116%を記録し、繊維輸出の77%、総輸出の34%を占める香港最大の輸出産業になっている。

仕向地別では、1985年不振を極めた西独、英国を

表 4 原料繊維の輸入実績

・単位：1,000kg

		1983	1984	1985	1986	前年比(%)
(1) ポリエステルステープル						
	日 本	16,535	19,703	10,119	12,642	125
	米 国	644	1,497	2,044	3,407	167
	台 湾	9,037	12,601	12,152	16,500	136
	韓 国	3,753	9,846	6,854	3,866	56
	マレーシア	3,616	4,743	3,041	6,151	202
	合 計	34,703	57,780	37,293	43,481	117
(2) アクリルステープル/トップ						
	日 本	3,293	3,180	2,662	2,682	101
	台 湾	348	1,165	2,257	3,275	145
	合 計	4,145	6,386	5,053	6,116	121
(3) ポリエステルフィラメント系						
	米 国	135	184	4,410	137	3
	タ イ	4,382	3,676	2,301	2,001	87
	中 国	2,084	4,342	4,237	3,468	82
	日 本	992	1,307	1,022	1,033	101
	台 湾	20,169	35,064	44,496	35,386	80
	韓 国	2,614	18,693	21,350	5,027	24
	合 計	31,362	66,456	88,902	48,151	54
(4) ナイロンフィラメント系						
	日 本	621	825	831	255	31
	台 湾	8,116	7,435	8,868	3,857	44
	韓 国	668	242	746	86	12
	中 国	147	72	163	84	52
	合 計	9,993	9,089	10,813	4,622	43
(5) アクリル紡績糸						
	日 本	706	405	491	1,258	256
	台 湾	13,900	15,168	18,937	16,843	89
	韓 国	1,507	3,443	4,367	3,432	79
	中 国	2,358	1,735	2,478	3,120	126
	合 計	18,621	20,920	26,744	24,863	93

表 5 織物地場生産

数量単位：1,000㎡

品 種 別	1984年	1985年	前年比	1985年1～9月	1986年1～9月	前年比
綿 織 物	654,744	634,746	97	451,665	540,254	120
綿 混 織 物	58,003	39,285	68	28,674	32,401	113
合繊長繊維織物	701	264	38	264	492	186
絹 織 物	1,772	1,126	64	864	695	80

中心とする ECC 諸国向けが、EEC 市況の回復、通貨の安定も手伝い HK ドル140億 (US ドル18億)、前年比134%と絶好調である。又、最大の仕向地である米国向けも、米国における衣料品の在庫調整が進んだ事から買い気が拡がり、HK 億269億 (US ドル35億)、前年比109%を達成し、米国の輸入制限の動きにもかかわらず、まずまずの状況で推移している。更に我国向けも HK ドル24億 (US ドル3億)、

前年比143%と急伸した。

商品別カテゴリーでは、セーター、ズボン、ブラウス、シャツが依然として好調であり、1984年驚異的なブームにわき、前年比155%と大幅な輸出増を達成したセーターが1986年も健闘し前年比112%、シエア20.7%と輸出商品第1位の地位を占めている。ズボン、ブラウス、シャツも前年比各々104%、123%、115%と伸びている。

表 6 綿織物輸出実績

数量単位：1,000m²

主 要 国 別	1984年		1985年		前年比 %	1986年		前年比 %
	数 量	シェア%	数 量	シェア%		数 量	シェア%	
米 国	130,315	24.6	120,469	24.1	92	128,730	19.8	107
英 国	47,890	9.1	48,269	9.6	101	51,853	8.0	107
オーストラリア	63,797	12.1	50,446	10.0	79	50,844	7.8	101
ニュージーランド	20,525	3.9	15,111	3.0	74	16,073	2.5	106
シンガポール	32,677	6.2	29,388	5.9	90	35,683	5.5	121
中 国	61,881	11.7	73,787	14.7	119	143,564	22.1	195
総 計	528,966	100	500,627	100	95	650,294	100	130

表 7 ポリエステル綿混織物輸出実績

数量単位：1,000m²

主 要 国 別	1984年		1985年		前年比 %	1986年		前年比 %
	数 量	シェア%	数 量	シェア%		数 量	シェア%	
英 国	37,729	40.4	31,744	39.4	84	34,216	35.3	108
米 国	4,007	4.3	8,901	11.0	222	6,666	6.9	75
西 独	1,769	1.9	384	0.5	23	602	0.6	157
シンガポール	1,243	1.3	1,010	1.3	81	1,203	1.2	119
台 湾	6,477	6.9	1,876	2.3	29	945	1.0	50
マカオ	3,526	3.8	3,943	4.9	112	3,791	3.9	96
オーストラリア	3,134	3.4	2,286	2.8	73	1,140	1.2	50
中 国	13,307	14.2	12,625	15.7	95	19,827	20.5	157
総 計	93,438	100	80,648	100	86	96,866	100	120

表 8 綿織物輸入実績

数量単位：1,000m²

主要国別	1984年		1985年		前年比 %	1986年		前年比 %
	数 量	シェア%	数 量	シェア%		数 量	シェア%	
日 本	151,587	14.0	144,337	13.9	95	142,523	10.1	99
中 国	731,569	67.8	713,016	68.9	97	1,035,946	73.2	145
台 湾	94,437	8.7	92,764	9.0	98	116,109	8.2	125
韓 国	19,782	1.8	14,053	1.4	71	30,423	2.1	216
パキスタン	12,875	1.2	5,670	0.05	44	8,999	0.06	159
総 計	1,079,508	100	1,035,339	100	96	1,415,137	100	137

表 9 ポリエステル綿混織物輸入実績

数量単位：1,000m²

主要国別	1984年		1985年		前年比 %	1986年		前年比 %
	数 量	シェア%	数 量	シェア%		数 量	シェア%	
日 本	74,507	11.6	64,135	9.5	9.5	49,946	5.8	78
台 湾	77,705	12.1	79,316	11.7	102	107,995	12.5	136
韓 国	43,048	6.7	26,293	3.9	61	56,014	6.5	213
中 国	399,777	62.2	452,743	67.0	113	609,415	70.4	135
マレーシア	9,962	1.5	10,285	1.5	103	7,107	0.8	69
タ イ	6,328	1.0	7,001	1.0	111	9,798	1.1	140
総 計	642,962	100	675,764	100	105	866,152	100	128

表10 香港の衣料品地場輸出（毛皮類を除く）

単位：主要市場別 HK \$百万

主 要 市 場	Ranking		1986		1987 (1～6月)		%	
	1986	1987 (1～6月)	Value	% シェア	Value	% シェア	86 / 85	87 / 86 (1～6月)
World			49,683	100.0	26,354	100.0	+15	+23
アメリカ	1	1	26,238	52.8	13,630	51.7	+9	+18
西ドイツ	2	2	6,295	12.7	3,700	14.0	+39	+45
イギリス	3	3	4,830	9.7	2,548	9.7	+26	+21
カナダ	4	4	2,020	4.1	987	3.7	+14	+8
スイス	5	5	1,286	2.6	792	3.0	+22	+35
オランダ	6	6	1,119	2.3	661	2.5	+33	+54
スウェーデン	7	7	1,054	2.1	510	1.9	+21	+20
中 国	8	8	772	1.6	438	1.9	+59	+73
日 本	9	9	804	1.6	331	1.3	+32	+55
フランス	8	10	610	1.2	316	1.2	+40	+32
オーストラリア	11	11	655	1.3	283	1.1	-7	-16
デンマーク	10	12	490	1.0	257	1.0	+41	+26
ノルウェー	12	13	482	1.0	246	0.9	+31	+14
オーストリア	13	14	407	0.8	238	0.9	+23	+45
フィンランド	14	15	223	0.4	162	0.6	+51	+69
イタリア	16	16	307	0.6	148	0.6	+81	+53
シンガポール	15	17	200	0.4	107	0.4	+2	+23
サウジアラビア	17	18	170	0.3	105	0.4	-27	+32
ベルギー/ルクセンブルグ	18	19	139	0.3	83	0.3	+34	+60
アラブ首長国	19	20	127	0.3	55	0.2	-24	-14
東ドイツ	20	21	82	0.2	52	0.2	-3	+16
ポーランド	22	22	126	0.3	48	0.2	+14	-9
パナマ	21	23	68	0.1	47	0.2	-27	+63
クウェート	☆	24	78	0.2	46	0.2	-24	+13
リビア	24	25	8	*	32	0.1	-31	..
その他	☆		1,093	2.2	482	1.8	-16	-1
E. E. C.(12)			13,899	28.0	7,763	29.5	+34	+36

☆ Ranking of the market below 25th

* Insignificant

.. Over 1,000% increase

Source: Hong Kong Trade Statistics

(Hong Kong Trade Development Council)

Census and Statistics Department

1987年1～6月輸出も、米国、EEC、我国向けを中心に極めて好調であり、前年比126%を記録した。特に前年比136%と引続き好調なEEC向け及び毛皮品の大幅な伸びが貢献している日本向け（前年比218%）の伸びが目立つ。

1987年の衣料品輸出を展望すると、米国アパレル企業による中米での縫製品加工基地作りの進展、EECへ新規加入したスペイン、ポルトガルからのEECへの輸入増、更には欧米の保護貿易主義の動き等々香港にとり楽観は許されないが中国との積極的取組みによる生産拠点对策の推進、非クォーター地域への生産シフト、製品の高級化指向、日本を中心とする非クォーター国への積極拡販努力等を進める事により、香港衣料品業界は、1987年も着実に輸

出の拡大を果すものと考える。

2.3 香港の産地としての特異性

香港の産地としての特異性を挙げると次の通りである。

(1) 韓国、台湾が繊維の川上部門より発展したのに比し、香港は政府の徹底した開放政策により素材が海外より自由かつ迅速に手当出来るためこれの加工を目的とした川下内部から発展した。

(2) 背後に中国と言う巨大な労働市場を有する。中国への投資、中国と共同での生産拠点对策推進によりコスト競争力が強化できる。

(3) 技術水準が高い。

(4) 先進諸国からのファッション情報が豊富であ

表11 香港の衣料品地場輸出：主要市場別

単位：HK \$百万

主 要 市 場	Ranking		1986		1987 (1～6月)		%	
	1986	1987 (1～6月)	Value	% シェア	Value	% シェア	86 / 85	87 / 86 (1～6月)
World			52,162	100.0	27,957	100.0	+16	+26
アメリカ	1	1	26,921	51.6	13,996	50.1	+ 9	+45
西ドイツ	2	2	6,328	12.1	3,710	13.3	+39	+19
イギリス	3	3	4,869	9.3	2,569	9.2	+26	+21
日 本	4	4	2,412	4.6	1,470	5.3	+43	+118
カナダ	5	5	2,046	3.9	1,012	3.6	+14	+ 9
スイス	6	6	1,293	2.5	795	2.8	+22	+34
オランダ	7	7	1,123	2.2	663	2.4	+33	+54
スウェーデン	8	8	1,066	2.0	517	1.8	+21	+19
中 国	9	9	783	1.5	488	1.7	+60	+71
フランス	11	10	622	1.2	323	1.2	+41	+33
オーストラリア	10	11	659	1.3	286	1.0	- 7	-16
デンマーク	12	12	491	0.9	258	0.9	+41	+26
ノルウェー	13	13	483	0.9	246	0.9	+30	+13
オーストリア	14	14	408	0.8	238	0.9	+23	+45
フィンランド	16	15	223	0.4	162	0.6	+51	+69
イタリア	15	16	325	0.6	154	0.6	+83	+54
シンガポール	17	17	201	0.4	108	0.4	+ 2	+24
サウジアラビア	18	18	172	0.3	105	0.4	-27	+32
ベルギー/ルクセンブルグ	19	19	146	0.3	88	0.3	+40	+63
アラブ首長国	20	20	127	0.2	55	0.2	-24	-14
東ドイツ	22	21	82	0.2	52	0.2	- 3	+16
ポーランド	21	22	126	0.2	48	0.2	+14	- 9
パナマ	27	23	68	0.1	47	0.2	-27	+63
クウェート	24	24	78	0.1	46	0.2	-24	+13
リビア	64	25	8	*	32	0.1	-31	..
その他			1,102	2.1	489	1.7	-16	- 1
E. E. C. (12)			14,014	26.9	7,816	28.0	+34	+36

.. Over 1,000% increase * Insignificant

(Hong Kong Trade Development Council)

Source: Hong Kong Trade Statistics

Census and Statistics Department

り、労働者の感性が自然に高められている。高級品の生産に対応することが容易である。

(5) 天然繊維生産では世界一を誇る中国との取組みが急速に進展している。

(6) 対米国、欧州諸国向け輸出枠（クォータ）の最大の保有国である。

(7) 素材の手当が容易である自由港であり世界のあらゆる素材が無税かつ簡略な輸入手続きを経て迅速に手当出来る。

(8) 韓国、台湾に比し為替面での有利性ある（HKドルはUSドルにリンクしている。

2.4 衣料品の対日輸出状況

香港からの対日輸出衣料は次のような状況にある。

(1) 日本向け衣料品輸出の特徴として、毛皮品の比率が極めて高く、1986年度は日本向け衣料品輸出、HKドル24億（USドル3.1億）の67%を占める。又、1987年1～6月の衣料品輸出では、HKドル14.7億（USドル119億）の内、77%が毛皮品である。

(2) 香港の毛皮品輸出の大半が日本向けであり、1986年毛皮品輸出、HKドル248億（USドル32億）の65%が日本向けである。1987年1～6月では、HKドル16.0億（USドル2.1億）の毛皮品輸出の71%となっている。

(3) 香港衣料品の輸出市場としての日本の地位は

表12 香港の衣料品地場輸出(毛皮類を除く)：主要製品別

単位：HK \$ 百万

製 品 品 目	1986		1987 (1～6月)		%	
	Value	% シェア	Value	% シェア	86 / 85	87 / 86
Clothing (Except Fur Clothing)	49,683	100.0	26,345	100.0	+15	+23
セーター	10,281	20.7	4,968	18.9	+12	+15
ズボン	8,539	17.2	4,922	18.7	+ 4	+22
ブラウス	7,724	15.5	3,944	15.0	+23	+25
シャツ	6,317	12.7	3,765	14.3	+15	+31
スカート/ドレス	3,754	7.6	2,029	7.7	+32	+13
スーツ及びコート	3,512	7.1	1,708	6.5	+15	+26
ブリーフ、パンティ及びニッカ	918	1.8	537	2.0	+13	+38
夜着	1,003	2.0	432	1.6	+13	+11
手袋	840	1.7	340	1.3	- 5	- 6
作業服とエプロン	354	0.7	274	1.0	+19	+43
帽子	410	0.8	203	0.8	- 2	+38
レインコート	225	0.5	95	0.4	- 8	-18
水着	119	0.2	59	0.2	-15	+37

出典：Hong Kong Trade Statistics
Census and Statistics Department

(Hong Kong Trade Development Council)

次のように未だ低い。

毛皮品を含めた場合：1986年輸出シェア4.6% (米国、西独、英国に次ぎ第4位)

1987年1～6月輸出シェア5.3% (米国、西独、英国に次ぎ第4位)

毛皮品を除いた場合：1986年輸出シェア1.6% 第8位

1987年1～6月輸出シェア1.3% 第9位

(4) 日本の衣料品輸入に占める香港品の位置 (皮製品を除く)

香港からの衣料品の輸入は大幅に増加しているが、他の地域からの輸入が、それ以上に増加しているため、香港品の伸び率及び輸入シェアは年を追って相対的に低下している (表13)。

ちなみに、日本への衣料品輸出の3大国 (地域)

表13 香港からの衣料品の輸入

	1985年	1986年	1987年1～7月
輸 入 (金額)	21,851百万円	17,345百万円	7,993百万円
前年比 (金額)	108%	80%	148%
〃 (数量)	113%	125%	183%
シェア (金額)	5%	4%	3%
〃 (数量)	2%	2%	1.5%

である韓国、中国、台湾の、1985年、1986年、1987年1～7月における輸入シェアは、我国の衣料品総輸入に対し、それぞれ92%、91%、92%を占めている。

以上のごとく、香港衣料品の対日輸出は両国にとり未だその輸出/輸入シェアは極めて低いが、香港は中国と言う巨大な労働市場を背後に持ち、今後価格競争力が更に増すこと、自由港を通じて世界のいかなる素材も迅速に手当が出来ること、更には香港ドルがUSドルにベッグされているため、韓国、台湾に比し為替面の有利性がある事と香港政庁が、Non-Quota 地域としての日本市場開拓に真剣に取り組んでいると言う香港サイドの状況と、我国の商社、アパレル企業等が、アジアにおけるアパレル戦略の核として、香港の進出を進めている事を考え合わせると、今後衣料品取引を通じての香港、我国の取組みが急速に拡と大されると確信する。

(5) 香港繊維産業の将来性

1994年中国への復帰問題もからみ、香港繊維産業の将来については、意見が分かれるところであるが、中国への復帰後も50年間は現体制を維持するとの中英合意により、政治的な安定が保障されたので今後共各国の香港/中国への投資、進出が促され、香港/中国のより強固な取組関係が継続されると予想されるため、中期的にはまだまだ香港繊維産業の繁栄は続くものと思われる。